

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

| | |
|-----------------|------------|
| 提出日 | 2022年6月17日 |
| 作成 高齢者支援センター | 鶴川第2 |
| 作成者 | 鈴木 智明 |

| | | | | | |
|-----------------------|---|--------------------------------|---|---|-------|
| 1.開催日時 | 2022年6月10日 | (金) | 19:30 | ～ | 21:00 |
| 2.会場 | リモート開催 | | | | |
| 3.主催センター | 鶴川2 ・ 鶴川1 ・ | | | | |
| 4.参加人数 | 27人 | | | | |
| 5.参加者内訳 | <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 9人 | | <input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 2人 | | |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 7人 (うち、医師 1人) | | <input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 9人 | | |
| | <input type="checkbox"/> 民生委員 人 | <input type="checkbox"/> 老人会 人 | <input type="checkbox"/> 住民 人 | | |
| | <input type="checkbox"/> 町内会自治会 人 | <input type="checkbox"/> 警察 人 | <input type="checkbox"/> 行政 人 | | |
| | <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| 6.開催テーマ | コロナ禍におけるフレイル予防について | | | | |
| 7.地域課題 | <p>(1) 課題設定の背景</p> <p>コロナ禍で不活性な生活となっている高齢者が増えている中で、フレイルと共に、オーラルフレイル(口腔機能の低下)の高齢者が増えてきており、専門職種でも共有されていない現状である。</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <p>3/11圏域合同地域ケア会議にて、専門職に対してもオーラルフレイルの予防に対する普及啓発の必要性がある。</p> | | | | |
| 8.会議の内容 | <p>○「コロナに負けないまち、つるかわ(フレイル予防)」に向けた今後の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイルリーフレット、フレイル予防のレシピ提供への協力状況確認 <p>○オーラルフレイルに対する取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回、戸羽歯科医院の戸羽医師からオーラルフレイルの講義を頂き、アンケートを実施した結果、オーラルフレイルの重要性を理解していないという事がわかった。また取り組みに対して、施設・通所系は実際口腔ケアや栄養指導を実施しており、在宅は専門家につなぐアプローチへと支援がそれぞれ異なる。これらを踏まえそれぞれの視点から11月の圏域合同地域ケア推進会議での、グループワークの内容を考慮し意見交換を行った。 | | | | |
| 9.課題に対する対応策・今後の地域での展開 | <p>「コロナに負けないまち、つるかわ(フレイル予防)」を目指す上で、オーラルフレイルについて適切に理解をした上で各職種の取組、オーラルフレイル早期発見に繋がる、口腔歯科検診の受診率アップのため、専門職の取組について協議をしていく。</p> | | | | |